



Workshop series 質的研究法セミナー

グラウンデッドセオリー法を中心として
～日本の質的研究を世界へ発信する～

2019.6.29(土).30(日)

10:00-16:00

講師：山本 則子

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授

場所：東京大学医学部5号館 201号室

対象：看護系大学のポスドク, 教員, 大学院生 等. (先着20名)
質的研究の研究計画を持っている方を歓迎します.



●本ワークショップの概要

質的研究方法について学び、英語で質的研究論文を書く準備をする。

- ①対人の実践に求められる「知」とは
- ②質的研究の強みを活かすリサーチクエスションの設定
- ③分析するとき困らないデータ収集
- ④面白い結果を導くデータ分析
- ⑤英語で書く質的研究論文を考える

●各日程の予定

- 6/29 リサーチクエスションの設定 (演習：リサーチクエスションの設定)
データ収集 (演習：インタビュー)
- 6/30 データ分析 (演習：コーディング)
質的研究論文の質・英語で質的研究論文を書く (演習：分析結果の共有)

●事前申込：要。お申し込みは以下のGoogleフォーム (右に示すQRコード) より必要事項をご入力下さい
<https://forms.gle/3HnCbvaNqyjeVeeQ9>

●言語：日本語

●費用：無料

●問い合わせ：野口 麻衣子

Email: maikowww-tky@umin.ac.jp TEL 03-5841-3508

●主催：東京大学大学院医学系研究科グローバルナースングリサーチセンター

